

令和2年度 4年 算数科授業の略案

月日 ( 校時)	単元名	教材名
7月3日 (水) 4校時	小数のしくみ	小数のしくみを調べよう
本時のねらい (9 / 13時間) ○100分の1の位、1000分の1の位の小数の減法の位の筆算の仕方を考え、その計算を説明することができる。		
評価規準 思・考・表 100分の1の位、1000分の1の位の小数の減法の筆算の仕方について、既習の小数の加法の場合を基にして考え、式を用いて説明している。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
<b>【導入】</b> 11:30	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合いましょう。 (位をそろえてたし算をした。一番小さい位に0ができれば、消していた。)	・前時の学習のふり返りする。
<b>【展開】</b> 問題提示 11:32  課題把握 ・問いの共有 11:37 ・見通し  11:42 ・シラバス ・言語わざ ・算数用語  解決活動 ・自力解決 ・ペア学習  集団解決 ・全体学習 11:52  考察 12:02  まとめ 12:07	1 問題を読む。 3.64Lの水のうち、2.76L使いました。水は、何L残っていますか。  ○前時の問題と比較し、気が付いたことを確認しましょう。 ・前はたし算だったが、ひき算になる。 ・式は $3.64 - 2.76$ だと思う。 2 課題を把握する。 100分の1の位(小数第二位)までの小数のひき算の仕方を考え説明しよう。  ○学習の見通しをたてる。 ・小数のたし算の計算と同じように0.01が何個分かで考えればよい。 ・位ごとに分けて考えても計算できる。 (自力解決・ペア学習(7分)・全体学習(10分)・考察・まとめ(5分)・練習問題(3分)・振り返り(2分)) 「「まず」「次に」「だから」を使って説明する」 (小数点、10分の1の位(小数第一位)、100分の1の位(小数第二位)、1000分の1の位(小数第三位)、くり下がり、) 3 $3.64 - 2.76$ の計算の仕方を考える。 ○筆算を使った説明をマイボードに書きましょう。 まず、小数第二位から計算して、4から6はひけないので、小数第一位から1くり下げて、 $14 - 6$ で8になります。次に小数第一位の計算です。5-7はできないので、一の位から1くり下げます。そうすれば、 $15 - 7$ で8になります。最後に一の位の計算で $2 - 2$ をします。だから、答えは0.88です。 3.64は0.01が364こ、2.76は0.01が276こ、ひいて0.01が88こ、だから0.88になります。  ○できてきた意見の似ている求め方や違う求め方を説明しましょう。 ・みんな小数第二位から計算している。・一番小さい数の位から計算している。 ・くり下がりがある筆算になっている。・整数のひき算と同じような計算になっている。  4 課題にせまる気づきを考え合う。 ○ $3.64 - 2.76$ の筆算はどうやって計算すればいいだろうか。 ・整数の時と同じようにくり下がりもあって計算できる。 ・小数第二位から計算し、位をそろえて、最後に小数点をうつ。  100分の1の位(小数第二位)までの小数のひき算は、小数のたし算と同じように、位をそろえて、位ごとに計算する。	・本時では、100分の1のたし算の計算のしくみを応用させる。 ・「小数点をそろえる」ということは、位をそろえることであることに気づかせる。  ・グーバーチェックを行い、自力解決ができそうな児童の数を把握する。*リーダー ・自力解決が厳しい児童には、0.01が何個分かで考えよう伝える。  思・考・表 100分の1の位、1000分の1の位の小数の減法の筆算の仕方について、既習の整数の場合を基にして考え、式を用いて説明している。(ノート・発言)
<b>【終末】</b> 適用問題 ふりかえり 12:13	5 練習問題をする。 P86 5番の①  6 学習したことを振り返る。	